

消化器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「ICG 蛍光法を用いた消化器癌手術時の再建臓器の血流および腸間膜組織流評価 (Retrospective Study)」への協力のお願い

消化器外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象： 2018年9月から2021年8月31日までに開腹および腹腔鏡で行った消化管特に結腸・直腸切除術を施行した者を対象とします。

研究期間： 研究機関の長の研究実施許可日～2025年3月31日

研究目的・利用方法：

消化器癌の手術時に再建臓器を作成した後に ICG2.5mg を静脈内投与します。約1分後より血管、再建臓器が造影されます。その際に、赤外線カメラシステム 1588AIM (stryker) を用いて再建臓器の栄養血管・組織流の評価を行います。

【具体的な評価項目】

- ① 再建臓器の先端が染色されるまでの時間を計測。その時間と縫合不全の発生との関連を調べます。
- ② 再建臓器の先端の最終的な染色程度を評価。その染色程度と縫合不全の発症との関連を調べます。
- ③ 肉眼的な血流評価と ICG による血流評価の解離程度を評価します。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施される項目です。年齢、性別、診断名、術式、追加切除の有無、再建経路、再建胃管の長さ、基礎疾患の有無（高血圧、糖尿病）。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科

電話番号：058-230-6233

氏名：松橋 延壽

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科

氏名：吉田 和弘

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp